

選定条件①死傷事故多発区間、重大事故発生区間

- ①-1. 最新の事故データで死傷事故件数2.5件/年
- ①-2. 最新の事故データで死傷事故率100件/億台km以上かつ死傷事故件数1.5件/年
- ①-3. 最新の事故データで死傷事故率100件/億台km以上かつ重大事故率10件/億台km以上かつ死亡事故率1件/億台km以上
- ①-4. 日本損害保険協会で公表する交通事故多発交差点
- ①-5. 高齢者事故重点対策区間

最新の事故データで死傷事故率100件/億台km以上かつ第1当高齢者事故(高齢者が起こした事故)件数0.5件/年以上で、以下のいずれかの条件に該当する区間

- i. 追突事故件数1.0件/年以上
- ii. 車線逸脱事故件数0.5件/年以上
- iii. 歩行者事故件数0.5件/年以上

路線名	国道7号	【選定条件①-2】に該当	<H26~H29事故データ> ・死傷事故率 309.9 件/億台km ・死傷事故件数 1.50 件/年
箇所名	藤沢交差点	・死傷事故率100件/億台km以上	
住所	村上市藤沢	・死傷事故件数1.5件/年以上	

<位置図>



選定条件②関係機関(警察、道路管理者、地元・自治体)が 交通安全上対策が必要と考える区間

- ②-1. 事故危険箇所(H20以降指定)
- ②-2. 警察による2次点検プロセス結果の反映
- ②-3. 道路管理者が交通安全上対策が必要と考える区間
 - ・死傷事故や重大事故が急増する区間、凍結・積雪時の事故多発区間、物損事故多発区間等の地域の特徴的な事故多発区間
 - ・潜在的な危険区間(ETC2.0プローブ情報による急挙動多発区間)
 - ・最新1年間の事故データの死傷事故率が300件/億台km以上かつ前4年データの死傷事故率が100件/億台km未満で、現地やデータの確認を行った上で、危険性が高いと認められた区間
 - ・死傷事故率100件/億台km以上かつ関連事業との連携区間
- ②-4. 地元や自治体のニーズ箇所

路線名	国道17号	【選定条件②-3】に該当 道路管理者が交通安全上対策が 必要と考える区間	<H26~H29事故データ> ・死傷事故率 <u>182.8</u> 件/億台km ・死傷事故件数 <u>1.00</u> 件/年
箇所名	南一条交差点		
住所	魚沼市井口新田		

<位置図>



選定条件④アンケートによる意見収集

路線名	国道116号	【選定条件④】に該当 アンケートによる意見収集	<H26~H29事故データ> ・死傷事故率 6.7 件/億台km ・死傷事故件数 0.25 件/年
箇所名	小新IC~新潟西IC		
住所	新潟市西区小新		

<位置図>



<道路利用者の声>

■R1年道路利用者アンケートより

道路利用者からの
意見が10件と最も多い



- ・小新ICから高速道路に向かう車両による強引な車線変更が多く、危険を感じる。
- ・高速とわかれる所で割り込む車両が多い。
※他8件意見あり

現地状況

強引な車線変更が多く危険



高速との分岐点で
急な割り込みが多い

至 新潟市西蒲区